

市長のあまねくつぶやき

水面に5月の眩しい光が反射し、美しい時期となりました。最近では、鯉のぼりをあげる家庭が少なくなってきたと思いますが、田植え作業の周りに鯉のぼりが元気に泳ぐ様子は心を和まし、さまざまな生き物が活発に活動する時期が到来したと感ずる日々です。

冬至に柚子湯に入る慣わしと同様に、端午の節句に菖蒲湯に入る慣わしがあります。行方市は、この菖蒲湯に使われている葉シヨウブの生産が全国でも有数な産地であり、農家の皆さんが出荷する最盛期でもあります。

江戸時代、武家社会で「菖蒲」と「尚武」をかけて祝うようになったのが端午の節句の始まりだといわれており、その結果、今日でも菖蒲湯に入る習慣が受け継がれています。また、菖蒲の根茎には独特の香りがあり、菖蒲湯にはアロマテラピーの効果もあり、心身ともにリラックスすることを期待できるともいわれています。

かつて、霞ヶ浦は鯉の生産量が全国一を誇っていました。鯉は清流のみならず池や沼地などでも生息できる生命力の強い魚で、薬用魚ともいわれます。中国では「鯉が黄河の激流を昇りきって龍に変身した」という故事があり、鯉は立身出世の象徴ともなっています。

この時期は、植物や動物などが活発に成長する時期でもあります。植物の茎の頂点には成長点というものがああります。この点は成長する場所であり、この点が何かに変化してゆきます。例えば、この

場所が茎になれば伸長し大きくなってゆくわけですね。

この成長点のすぐ下を切ってしまうとどうなるでしょうか？成長点を失うことで大きくならなくなってしまうのでは？

しかし、植物は太陽を求めて伸長しなければならぬという動きを始めます。葉の付け根にある原基と呼ばれるところからわき芽を生やすのです。このわき芽には茎と葉という、植物の基本構造があり、わき芽だけでも根を生やすことができます、生存できる可能性があります。

新たな年度がスタートして1カ月が過ぎようとしています。新しい生活・新しい学校・新しい職場、それぞれのもっとで緊張しながら少しずつ前に進んできたのではないのでしょうか。また、戸惑ったり、悩んで足踏みすることもあったと思います。

ここで、5月5日に菖蒲湯に浸かり、リラックスし、それぞれの成長点をさがしてみてもいかがでしょうか。



行方市長 鈴木周也

市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せ
ください。

はい、こちら消費生活センター！

悪質な訪問販売

【事例】夕方、突然布団販売業者がやって来た。売れ残った高級布団を破格の値段で売りに歩いているという。残り1組しかなく、明日は違う地域を回るので今だけのチャンスだと言われた。話を聞いているうちに、買ってもしいかなと思ひ購入してしまった。しかし、次の日になって商品をよく見てみると、とても高級布団といえるような商品ではなかった。返品し支払ったお金を返してもらいたい。

【解説】業者が消費者宅を訪れ、商品やサービスの勧誘等を行うことを訪問販売といいます。消費者にとっては、突然家に来られ、商品やサービスを勧められてしまうため、正常な判断ができずに必要のない契約をしてしまうトラブルの多い販売方法です。今回の事例のように、契約を急がされる場合は、特に注意が必要です。実際に勧誘にあっても、その場で回答せずに家族などに相談して、本当に必要なものかをよく検討しましょう。また、契約してしまってもクーリング・オフが適応される場合があります。クーリング・オフとは、契約日を含め8日間は解約ができる制度です。業者の連絡先・住所等、クーリング・オフの解約方法について事前に把握するようにしましょう。悪質な勧誘を受けたり、解約したい時など、お困りの場合には早急に消費生活センターにご相談ください。

— まずはお電話を！ —

問：消費生活センター Tel 0291-34-6446

